

15:42 受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19663報)

2019年 5月23日 15時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第19654報でお知らせしたとおり, 現在, 2号機の窒素封入量は監視計器(正)の測定範囲の下限値を下回っていることから, 監視計器(副)により監視しています。そこで, 本日, 2号機の窒素封入量の監視計器(正)による監視状況の改善を目的に, 3号機への窒素封入量の低下操作を行うことにより, 封入配管がつながっている2号機への窒素封入量を増加させます。併せて, 操作に伴い, 各号機の水素濃度等, 関連パラメータについては, 監視を強化してまいります。</p> <p>&lt;3号機の窒素封入量変更(目標)&gt;  <math>16.5 \text{ Nm}^3/\text{hr} \rightarrow \text{約} 12 \text{ Nm}^3/\text{hr}</math></p> <p>目的どおりに2号機の窒素封入量が増加しない場合には変更前の値に戻します。</p> <p>なお, 窒素ガスの封入設備に異状はなく運転を継続していること, 2号機のPCVガス管理設備で監視している水素ガスの濃度は, 0.07%で実施計画に基づく水素濃度管理値(1.0%以下)に比べて十分低いことから, 原子炉の状態は安定していると判断しています。</p> <p>【公表区分: E】</p> <p>※添付の有・<input checked="" type="radio"/> (無)</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

16:22受

1/2

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19664報)

2019年 5月23日 16時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要)  第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽 i 南西側及び北東側の濡えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。  ・地下貯水槽 分析結果 [採取日 5月22日]  今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。  引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。  【公表区分：D統】  ※添付の(有)・無
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

2019年5月23日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽 分析結果(2019年5月22日分)

地下貯水槽(ドレン孔水)														
	i		ii		iii		iv		v		vi		vii	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻	7:13													
全べータ(Bq/L)	57													
			7:57											
			ND(24)											

地下貯水槽(漏えい検知孔水)														
	i		ii		iii		iv*		v*		vi		vii*	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻	※	※	6:50	7:45										
全べータ(Bq/L)	※	※	110,000	53										

(注)NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

\*漏えい検知孔iv、v、viiは、採取対象としていない。

※水位不足により採取できず

16:22受

1/9

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19665報)

2019年 5月23日 16時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [5月23日 11時00分現在]</li> <li>・サブドレン等核種分析結果 [採取日 5月22日]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 5月22日]</li> <li>・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 5月22日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 5月20日、22日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 5月22日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、5月24日に排水を実施します。                  排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 5月19日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

1/9

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年5月23日 11:00現在

【留意事項】  
 各計測機については、地震やその後の異常温度の影響を受けて、通常の使用状態と異なる値を示しているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測機も存在している。プラントの状態を把握するために、このような計測の不確かさを考慮し、追加の計測機から得られる情報を活用して変化の傾向にも着目して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 2.5 m <sup>3</sup> /h CS系: 1.7 m <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	給水系: 0.0 m <sup>3</sup> /h CS系: 3.0 m <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	給水系: 2.0 m <sup>3</sup> /h CS系: 2.4 m <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	※6 ※6
原子炉圧力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 18.5 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 18.4 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 18.3 °C (5/23 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 24.3 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 25.7 °C (5/23 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 20.9 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 20.1 °C (5/23 11:00 現在)	※6 ※6
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 18.5 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 18.3 °C (5/23 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 24.7 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 24.4 °C (5/23 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 21.0 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 19.8 °C (5/23 11:00 現在)	
原子炉格納容器 圧力	0.03 kPa g (5/23 11:00 現在)	2.67 kPa g (5/23 11:00 現在)	0.37 kPa g (5/23 11:00 現在)	
窒素注入流量 ※3	RPV (RVH): 14.70 Nm <sup>3</sup> /h (JP-A): 15.18 Nm <sup>3</sup> /h (JP-B): - Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	RPV: 10.44 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	RPV: 17.75 Nm <sup>3</sup> /h PCV: - Nm <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	※7 ※4 ※4
原子炉格納容器 ガス管理システム 排気流量	26.0 m <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	12.06 Nm <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	18.65 Nm <sup>3</sup> /h (5/23 11:00 現在)	
原子炉格納容器 水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (5/23 11:00 現在)	A系: 0.07 vol% B系: 0.06 vol% (5/23 11:00 現在)	A系: 0.12 vol% B系: 0.13 vol% (5/23 11:00 現在)	
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 9.20E-04 B系: 指示値 3.90E-04 C系: 指示値 1.23E-03 D系: 指示値 3.30E-04 (5/23 11:00 現在)	A系: 指示値 ND B系: 指示値 ND C系: 指示値 1.4E-01 (5/23 11:00 現在)	A系: 指示値 ND B系: 指示値 ND C系: 指示値 2.2E-01 (5/23 11:00 現在)	ND Ba/cm <sup>3</sup> ND Ba/cm <sup>3</sup> 2.2E-01 Ba/cm <sup>3</sup>
使用済燃料プール 水温度	24.8 °C (5/23 11:00 現在)	24.8 °C (5/23 11:00 現在)	24.0 °C (5/23 11:00 現在)	※5 (5/23 11:00 現在)
FPC 貯水タンク 水位	4.36 m (5/23 11:00 現在)	3.66 m (5/23 11:00 現在)	3.97 m (5/23 11:00 現在)	67.4 X100mm (5/23 11:00 現在)

【計測値に関する情報】  
 ※1: 指示値がマイナスの場合は0.00%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナスが示される場合があるため)  
 ※2: 指示値が格納容器ガス管理システムの水素濃度を記載する。  
 ※3: 指示値が格納容器内滞留水素の濃度をNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度 (Xe135) を記載する。  
 ※4: 窒素注入停止中  
 ※5: 4号機使用済燃料プール冷却水一次系ポンプ停止中  
 ※6: 作業に伴い原子炉注水調整中  
 ※7: 計測機調回中の為、代替計測機(FPSA-2U-1)にてデータ採取

3/9

サブドレン等核種分析結果

(データ集約: 5/23)

採取場所	福島第一 1号機 サブドレン	福島第一 2号機 サブドレン	福島第一 3号機 サブドレン	福島第一 4号機 サブドレン	福島第一 5号機 サブドレン	福島第一 6号機 サブドレン	福島第一 構内深井戸
試料採取日時刻	2019年5月22日 7時23分	2019年5月22日 7時27分	2019年5月22日 7時36分	2019年5月22日 7時43分	対象外	対象外	対象外
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)						
I-131 (約8日)	ND(6.1)	ND(7.2)	ND(4.3)	ND(4.5)	-	-	-
Cs-134 (約2年)	9.2	10	ND(3.3)	ND(3.3)	-	-	-
Cs-137 (約30年)	130	200	ND(3.8)	6.2	-	-	-

※ NDは検出限界値未満を表し、( ) 内に検出限界値を示す。

4/9

2019年5月23日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with 20 columns (5/5 to 5/22) and 10 rows of data for I-131 (Bq/L) measurements at various locations.

Cs-134 (Bq/L)

Table with 20 columns (5/5 to 5/22) and 10 rows of data for Cs-134 (Bq/L) measurements at various locations.

Cs-137 (Bq/L)

Table with 20 columns (5/5 to 5/22) and 10 rows of data for Cs-137 (Bq/L) measurements at various locations.

- <測定箇所>
①4号T/B建屋南東
②プロセス主建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤焼却機稼働時灰塵溜り処理建屋南
⑥焼却機稼働時灰塵溜り処理建屋西
⑦焼却機稼働時灰塵溜り処理建屋北
⑧焼却機稼働時灰塵溜り処理建屋南東
⑨サイトハンカ建屋南東

※I-131はサンプリング・測定を要していないことを示す。
※⑥は④が検算不可となったため、地下水流の上流側として選定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨を追加で測定(2011/8/2~)
※⑩は検出限界値未満を示す。( ) 内に検出限界値を示す。

2019年5月23日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

# 福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

	A排水路						物揚場排水路					
	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日
採取日	7:51	7:55	7:55	7:55	8:15	7:35	7:55	7:50	8:00	7:50	8:20	7:40
採取時刻	0	0	0	0	62.5	0	0	0	0	0	62.5	0
降雨量(mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
流量(m <sup>3</sup> /秒)	0.75	0.66	0.67	0.67	ND(0.51)	ND(0.71)	ND(0.44)	ND(0.56)	ND(0.59)	ND(0.68)	ND(0.62)	ND(0.81)
Cs-134(約2年)	7.2	8.3	12	12	4.7	3.3	1.5	1.5	1.2	1.7	1.7	2.6
Cs-137(約30年)	16	17	15	26	9.8	7.4	4.1	4.5	ND(3.1)	ND(3.1)	ND(3.2)	7.0
全β	-	-	-	-	-	分析中	-	-	-	-	-	分析中
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位: Bq/L

	K排水路						BC排水路					
	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日
採取日	7:12	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00	6:00
採取時刻	0	0	0	0	62.5	0	0	0	0	0	62.5	0
降雨量(mm/日)	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中	解析中
流量(m <sup>3</sup> /秒)	ND(0.68)	ND(0.60)	ND(0.77)	ND(1.2)	ND(0.89)	7.0	ND(0.63)	ND(0.91)	ND(0.63)	ND(0.51)	ND(0.63)	ND(0.61)
Cs-134(約2年)	5.5	6.1	5.1	5.5	7.0	87	ND(0.70)	ND(0.89)	ND(0.86)	ND(0.76)	ND(0.82)	ND(0.63)
Cs-137(約30年)	11	12	9.0	7.4	6.6	120 <sup>※</sup>	ND(3.1)	ND(3.4)	ND(3.6)	ND(3.2)	ND(3.6)	12
全β	-	-	-	-	-	分析中	-	-	-	-	-	分析中
H-3(約12年)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 本枠内が今回公表データ。他は5月22日までにお知らせ済み。

\* 測定対象外の項目は「-」と記す。

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

※ 降雨の影響により上昇したと考えられる。

5/9



6/9

2019年5月23日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原発推進カンパニー

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	No.0-1	No.0-1-2	No.0-2	No.0-3-1	No.0-3-2	No.0-4	No.1	No.1-6	No.1-8	No.1-9(注)	No.1-11	No.1-12	No.1-14	No.1-16	No.1-17
採取時刻										5月20日					
塩素(単位: ppm)										8.42					
Cs-134(約2年)										50					
Cs-137(約30年)										-					
その他										-					
γ										-					
全β										-					
H-3(約12年)										130					
Sr-90(約29年)										580					

採取日	1,2号機 ウエルポイント 汲み上げ水	No.2	No.2-2	No.2-3	No.2-5(注)	No.2-6	No.2-7	No.2-8	2,3号機 改修ウエル 汲み上げ水	No.3	No.3-2	No.3-3	No.3-4	No.3-5(注)	3,4号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻															
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β															
H-3(約12年)															
Sr-90(約29年)															

\* 太枠内が今回公表データ。他は5月21日にお知らせ済み。  
 \* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き( )内に検出限界値を示す。  
 \* 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。  
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。

7/9

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻										5月22日					
塩素(単位: ppm)										8.46					
Cs-134(約2年)										58					
Cs-137(約30年)										—					
その他										—					
γ										—					
全β										61					
H-3(約12年)										分析中					
Sr-90(約29年)										—					

採取日	1,2号機 ウエルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	2,3号機 改修ウエル 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	3,4号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻						5月22日									
塩素(単位: ppm)						8.29									
Cs-134(約2年)						ND(0.28)									
Cs-137(約30年)						1.1									
その他						—									
γ						—									
全β						160									
H-3(約12年)						分析中									
Sr-90(約29年)						—									

\* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き( )内に検出限界値を示す。

\* 測定対象外の項目は「—」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。

(注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

8/9

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

採取日時	福島第一 5.6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東防波堤北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (運水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日		
採取時刻	8:00	7:52	7:30	7:21	7:26	6:54	6:46	6:44		
Cs-134 (約2年)	ND(0.61)	ND(0.39)	ND(0.45)	ND(0.74)	1.2	ND(0.66)	ND(0.56)	ND(0.22)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.68)	ND(0.62)	0.76	4.5	24	ND(0.75)	1.9	1.8	90	10
全β	—	ND(16)	ND(16)	17	34	11	ND(15)	ND(14)		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

単位: Bq/L

採取日時	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日	5月22日		
採取時刻	6:42	6:40	6:48	7:16							
Cs-134 (約2年)	ND(0.35)	ND(0.32)	ND(0.25)	ND(0.39)						60	10
Cs-137 (約30年)	1.0	0.35	0.97	0.98						90	10
全β	ND(14)	15	ND(14)	ND(15)							
H-3 (約12年)	—	—	—	—						60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—						30	10

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内は検出限界値を示す。

\* 測定対象外の項目は「—」と記す。

\* 物揚場前は、シルトフェンス開閉を行った日は開閉実施後にもサンプリングを実施。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度 (別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

9/9

2019年5月23日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一 廃炉推進カンパニー

# 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

項目	一時貯水タンクC (サンプルタンクC)		運用目標	告示濃度 限度 ※1	WHO飲料水 水質ガイドライン
	東京電力	第三者機関			
採取日	2019年5月19日	2019年5月19日			
採取時刻	7:30	7:30			
貯水量 [m <sup>3</sup> ]	820	820			
セシウム134	ND(0.54)	ND(0.62)	1	60	10
セシウム137	ND(0.58)	ND(0.45)	1	80	10
その他 ガンマ核種	検出なし	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(2.6)	ND(0.36)	3(1) <sup>(注)</sup>		
トリチウム	460	500	1,500	60,000	10,000

\* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社  
 \* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。  
 (注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。  
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])  
 ※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1 Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

19:27 受

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19666報)

2019年 5月 23日 19時 20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第19661報でお知らせしたとおり、地下水バイパス一時貯留タンクグループ2に貯水していた水について、本日以下の通り排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 9時56分</li> <li>・排水終了 : 15時59分</li> <li>・排水量 : 1,685 m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	※添付の有・無 なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

19:27 受

1/1

様式0-1(1/2)

## 応急措置の概要(原子炉施設)

(第19667報)

2019年5月23日 19時20分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

## 第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要)</p> <p>第19663報でお知らせしたとおり、2号機の窒素封入量の監視計器(正)による監視状況の改善を目的に、16時13分から16時48分にかけて3号機への窒素封入量の低下操作を行いました。2号機の封入量<math>10\text{Nm}^3/\text{hr}</math>からの増加が確認できませんでした。</p> <p>このため、お知らせしたとおり、17時35分から18時26分にかけて3号機への窒素封入量を変更前の窒素封入量<math>16.5\text{Nm}^3/\text{hr}</math>に戻しました。</p> <p>&lt;3号機の窒素封入量変更&gt;  <math>16.5\text{Nm}^3/\text{hr} \rightarrow 12\text{Nm}^3/\text{hr} \rightarrow 16.5\text{Nm}^3/\text{hr}</math></p> <p>なお、窒素ガスの封入設備に異状はなく運転を継続していること、2号機のPCVガス管理設備で監視している水素ガスの濃度は、0.07%で実施計画に基づく水素濃度管理値(1.0%以下)に比べて十分低いことから原子炉の状態は安定していると判断しています。</p> <p>また、各号機の水素濃度等、関連パラメータに有意な変化は見られておりません。</p> <p>【公表区分:E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。